

## 意見概要(三好市・東みよし町地域)

## 再編計画に対する要望・提言など

## (1) 教育内容の充実に関するもの(6件)

整理番号	意見の概要
1	今までの、各校の歴史や培ってきた教育文化を特色として活かせる方法を考えなくてはならないと思う。例えば三好高校には、県内唯一の林業実習林などを有し、実際に林業や森林整備に携わる卒業生も多いので、徳島県の豊富な森林資源や吉野川沿いの土地特性などを活かした農業など、第一次産業を起点とした、いわゆる六次産業の振興が地域振興の切り札となると考えている。それらの人材を育てるためにも、普通科・理数科などの進学を主とする学校づくりと並行して、地域産業の即戦力を育成する学校づくりをしてもらいたい。
2	単に大学への進学だけでなく、医療・介護、農業等、三好地域に密着した教育体制が望まれる所である。
3	辻高校は、商業科・家政科で培った伝統があり、礼儀を重んじ、公共心や奉仕の精神が脈々と受け継がれていると聞いている。良き伝統を受け継ぐ教育内容とし、高校卒業後に、社会で評価される人材育成をお願いする。
4	3校でいく場合は、各校にすべての学科を設置し、3校どこに行っても同様の学習が受けられるようにした方が良いと思う。また、野球をしたい子は現池田、ソフトなら現辻など、部活動にも配慮すべきだと思う。分校になり、各校に同様の部活があるのもどうかと思う。
5	「まごころ市」や「農業祭」での販売をしている三好高校近隣住民として、農業科が筆蔵に残ることは嬉しいことである。 看護職や介護職は、若者が三好地域で残ることのできる職業の一つである。地域への愛着を育て、地域に貢献できる人材の育成をお願いする。
6	50年後には日本の人口が4,000万人も減少すると報道があり大変驚いている。今後は「国の力」がためされ、徳島県も少子高齢化が異常な速さで進展するものと考えられる。そんな中、高等学校の統廃合が発表され、地域で話題となっている。数年後には、生徒数が大幅に減少し統廃合は已むなしという雰囲気になっているが、今の社会は経済至上主義で全てのことは数字によって支配されようとしている。それも一理あるが、人の価値はそんなものでなく、特に教育や音楽・芸術ともなれば尚更である。グローバル化した現在、国際社会に通用する人間力を持つ子どもをどう育てていくのか、これは私達一人一人が真剣に考え、中・長期的に目標を掲げ、知恵を出すべき時である。過度な競争により社会全体に格差が広がり不安定な世の中になっており、こんな時代だからこそ教育が大事となる。単なる教あわせをやめ、今こそ人間性豊かで向上心や自立心を持った志の高い若者を育てなければならない。三好高校を有効活用し生涯学習に興味を持つ高齢者に学習の場として、子どもには体験学習の拠点と位置づける。中学生の農業高校志願者は今後も少ないと思うが、農業に憧れる大人は多いと思う。広く考えれば森林や田畑を守ることによって自然が保護され、昔の様な自然を再生し、美しい心を持つ人間が一人でも多く生まれることを望む。

## (2) 教育環境の整備に関するもの(5件)

整理番号	意見の概要
1	三好地域の子どもたちに遠距離通学をできるだけなくていい教育環境の構築をお願いしたい。
2	この地域の子どもたちにも、徳島市内の子どもたちと同じような教育が受けられるよう、十分な環境を整えてあげて欲しいと思う。
3	1カ所に集約する場合は、施設の安全性や教育設備などに考慮し集約すべきだと思う。必要なら増設も検討すべきだと思う。
4	教科数・授業展開を見据えた教員数をまず確保し、次に進路選択に応じたクラス数を決めれば良い。生徒の募集定員とは切り離すべきである。臨時講師でまかなおうとするのは止めた方がいいと思う。今の子どもは繊細な子どもが多く、教員の負担は相当なものだと感じている。きめ細やかな指導とは、教員自身に余裕があり、生徒一人一人に目が行き届く環境を整えなければ出来ないことではないか。未来は今現在の子どもが作るものであり、より良い未来を作ろうと思うならば、今現在の子どもに良質な教育を受けさせなければならないと考える。
5	「人・物・金」を集約し、地域にあった県条例を作り「1クラス15名～20名位」でマン・ツー・マンの教育をしたらどうか。能力や個性・特徴を生かしながら「ナンバーワン」より「オンリーワン」の教育を目指すべきである。

## (3) 高校再編の方向性に関するもの(10件)

整理番号	意見の概要
1	三好地域は、急速な過疎化、高齢化、そして少子化の中にあり、将来的なことを考えると、とても厳しい状況にあると実感している。そんな状況なので、高校再編化は急がなくてはならない問題だと感じている。今回の再編計画案では、三好高校と辻高校に、新しい学科が設置されるが、それはとても良いことだと思う。ただ、3つの高校がそのまま存続したのでは、益々小さい高校ばかりになってしまうのではないと思う。他の地域での高校再編化が進んでいるなかで、三好地域の再編化が遅れていることが気がかりである。各高校の地元の方々の考えや、卒業生の方々の様々な思いもあるが、まずは子どもたちがいい条件のもとで学習ができることを、最優先に考えて、検討していただきたい。
2	生徒数の減少の中、統合は必要であろうと思う。核となる高校としては、三好市の中心である池田高校がその役をこなすのは地理的な見地からいっても当然であろうと思う。三好高校は農業科という特殊な要素を持っているので実習園等の必要から現在の校舎を活用する必要があると思う。現在の骨子案における辻校の総合学科は、将来的には池田高校にくみ入れるのがよいのではないかと。小規模校を分校として点在させるといふより、多くの同級生、多くの先生方との触れ合いは、子どもにとって大切な教育の一つではないかと考える。
3	10年後には、三好市の子ども数は現在の約半分になると聞いている。現行の小さな学校のままだと、教員数が少なくなるので十分な教育ができなくなると思う。3校が1日も早く統合して大きな学校となり、それぞれの特性を活かして、地域を担う人材を育成すべきだと思う。
4	この計画では、名前が変わるだけで現状とあまり変わらないように思う。
5	急激な生徒数の減少に伴う三好高校の再編は必然の理だと思う。効率よく、学習ニーズに対応した教育体制を再構築する絶好のチャンスである。再編の時期は平成29年度となっているが、もう少し前倒して実行すべきである。
6	少子化により、三好地域の小・中学校の統廃合が相次いでいるこの時代に、高校の統合もやむを得ないと感じている。
7	人口の動向を鑑みても、高校の再編は避けて通れない問題である。
8	池田高校はそのままなのか？制服は一つに統一されるのか？素朴な疑問がある。
9	「40人で一学級」という考え方は、時代にそぐわないと思う。生徒が〇人だから教員の数は〇人、などという発想はやめて、「まず教員は〇人確保しなくてはならない」という案はどうか。再編をする理由は、生徒のニーズに合ったきめ細やかな指導を行うためである。しかし、子ども数がこれ以上増えないなら、生徒の人数が減ったからといって職員を減らし、それでは学校が維持できないから合併する、というのは違うと思う。再編自体はしかたがない流れである。
10	辻校・三好校に校長の位置づけとなる責任者がいないと、分校の主体性が発揮しづらいのではないかと心配である。「辻キャンパス」「三好キャンパス」に、副校長のポスト(教頭クラス)を新設して、主体性を発揮しやすくする。学習意欲を刺激する学科名の見直しについて、学生の将来に希望を託すメッセージを込めた名称に変更する。例:農業科→自然科学科、理数科→応用研究科、総合学科→総合経済科、普通科→社会文化科などにする。

## (4) 校名等に関するもの(6件)

整理番号	意見の概要
1	名称は、池田高校でよいのではないかと、新しい名称はかえて、そぐわないと感じる。
2	名前については、三好地域の文化・経済の中心であり、全国的な知名度からして、池田高校が妥当である。
3	学校名は、辻高校、三好高校の事に配慮し、「やまびこ高校」などに変わった方がよいと思う。
4	分校のイメージをなくして、本校も分校も同じ高校の位置づけと感ぜられるよう、大学を参考にして、池田高校「池田キャンパス」「辻キャンパス」「三好キャンパス」のような名称に見直す。
5	「池田高校辻校」「池田高校三好校」では混乱する。「池田高校辻キャンパス」「池田高校三好キャンパス」を提言する。
6	辻高校が再編後、池田高校の分校となることは、仕方がないと思うが、卒業証書に「池田高校辻校」と表記されると、本校と分校で違いがあるようで違和感がある。

[参考]再編計画【骨子(案)】に対する賛否について

(1) 骨子案に賛同される方

整理 番号	意 見 の 概 要
1	過疎の進行も極まって、中学生の生徒数も極端に減少し、中学校数も減少した状況から、三好地域の高校の統廃合も致し方ない。残る高校としては、伝統校であり、地理的にも、交通の便のよい池田高校が中核となることは自然の成り行きである。しかし、実業科としての農業課程の必要と、商業科等も三好地域内で学習できる状況が望ましい。従って、再編計画(骨子案)に賛成である。

(2) 骨子案に賛同されない方

整理 番号	意 見 の 概 要
1	統廃合問題は行政を含め、P. T. A・地域と大きく関わっており、将来学校が無くなるということは地域の交流拠点を失うばかりでなく、活力を失い、やがて町全体が衰退することは火を見るより明らかである。旧三好郡全体をみた時、高校は最低2校は必要であり、保護者や子どもたちに選択する自由を与えるべきである。結論から言うと、辻高校の池田高校分校化には反対である。もし分校化すると将来廃校になる可能性を強く感じる。保護者や子どもが希望を持って集まるかどうか疑問である。地域でのバランス・利便性・環境を考えても辻高校は必要で、普通科でありながらコース制をとり、文理を問わず幅広い進路に対応するシステムは素晴らしいと感じている。辻高校の独立存続を強く希望する。三好高校・辻高校を統合し、旧三好郡には池田高校、辻高校の2校にする。

※ いただきましたご意見の中で、個人情報等に関わる部分につきましては、その趣旨を損なわない範囲で、削除させていただきます。

